

交付運用報告書**バークレイズ社債／ダウンサイド・
プロテクト型世界株式戦略ファンド
(早期償還条項付) 2024-06
<愛称> 攻守一体2024-06**

単位型投信／内外／資産複合／特殊型（条件付運用型）

作成対象期間：2024年6月27日～2025年8月4日

第1期 決算日：2025年8月4日

**受益者のみなさまへ**

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行する米ドル建債券を主要投資対象とし、バークレイズ・世界株式指数RC15%（以下「世界株式インデックス」といいます）の上昇リターンを獲得を目指すとともに、世界株式インデックス下落時の影響を抑制することを目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法

<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。

SOMPOアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

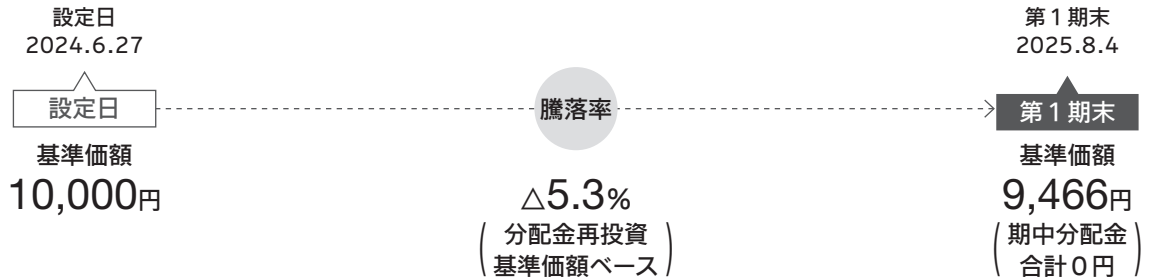
**0120-69-5432**

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- 当ファンドは、パークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行する米ドル建債券を主要投資対象とし、世界株式インデックスの上昇リターンの獲得を目指すとともに、世界株式インデックス下落時の影響を抑制することを目指します。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

主要投資対象であるパークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行する米ドル建債券の価格が下落したことから、当期の基準価額は下落しました。主要投資対象である米ドル建債券においては、社債利回りの低下（価格は上昇）はプラスとなりましたが、主に円高の影響により全体でマイナスとなりました。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第1期 2024.6.27～2025.8.4		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	96円	1.011%	$(a) \text{ 信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率（年率）} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,478円です。
(投信会社)	(35)	(0.365)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(58)	(0.609)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.037)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.017	$(b) \text{ その他費用} = \frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.009)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	98	1.028	

注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

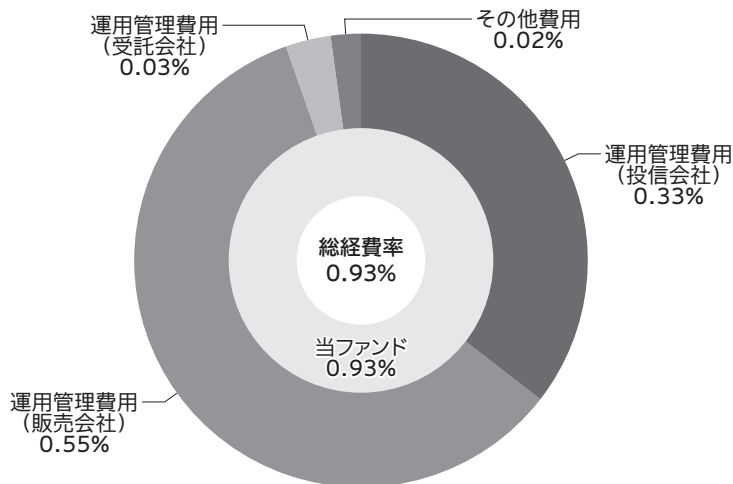
注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.93%**です。



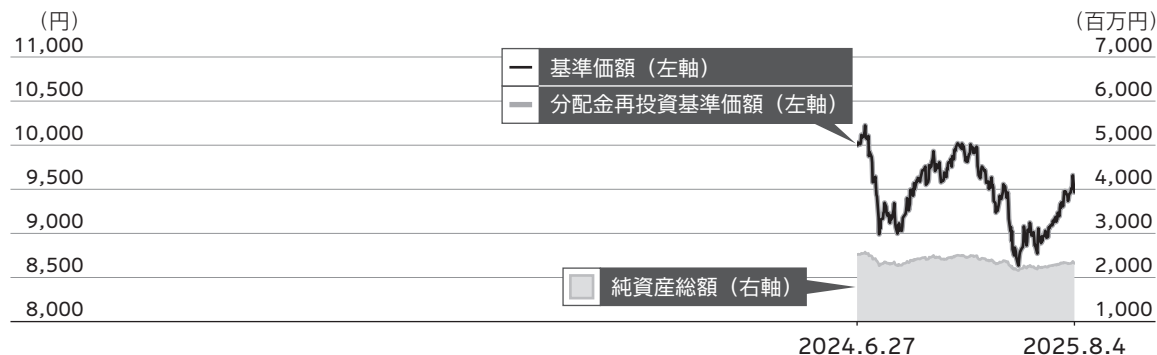
注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2020.8.3～2025.8.4



- 分配金再投資基準価額の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- 当ファンドは、パークレイズ・バンク・ビーエルシーが発行する米ドル建債券を主要投資対象とし、世界株式インデックスの上昇リターンを獲得を目指すとともに、世界株式インデックス下落時の影響を抑制することを目指します。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2024.6.27 設定時	2025.8.4 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,466
期中分配金合計（税引前）(円)		—	0
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	△ 5.3
純資産総額	(百万円)	2,521	2,319

● 投資環境

海外株式市場は上昇しました。期初からFRB（米連邦準備理事会）による利下げ決定等から上昇基調が続きました。期央にはトランプ政権の関税政策発動による世界的な景気悪化懸念の高まりから大きく下落する場面もありましたが、期末にかけては関税交渉の進展期待や中東での暫定的な停戦合意等から、再び上昇基調となりました。

日本株市場は概ね横ばいとなりました。2024年8月に歴史的な急落を記録し、その後に持ち直した株式市場は、2025年4月にトランプ関税政策を懸念して再び急落しました。期末にかけては、関税交渉の進展期待等から上昇基調で推移しました。

米国債利回りは低下しました。期初から2024年9月まで低下基調で推移した利回りは、その後、堅調な米国経済等を背景に上昇（価格は下落）基調となりました。期央以降はトランプ関税政策による景気悪化の懸念等により、利回りは低下基調となりました。

為替は、円高ドル安となりました。

バークレイズ・世界株式指数RC15%の推移



注. バークレイズ・世界株式指数RC15%は、米国・欧州・日本の株価指数先物取引を実質的な投資対象とします。各資産の配分比率は、米国株式（S&P500先物）70%、日本株式（日経平均先物）15%、欧州株式（ユーロ・ストックス50先物）15%とします。また、市場の変動が高まる局面では、インデックスの変動率（ボラティリティ）が年率15%となるように、全体の投資比率を機動的に引き下げます（全体の投資比率は最大100%となります）。なお、日本および欧州の株価指数先物取引の損益は日次で米ドルに換算します。

● 当該投資信託のポートフォリオ

バークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行する米ドル建債券の組入れを高位に保ちました。

米ドル建債券を通じて、バークレイズ・世界株式指数RC15%（以下、世界株式インデックス）の上昇リターンの獲得を目指すとともに、世界株式インデックス下落時の影響を抑制することを目指しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、バークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行する米ドル建債券を主要投資対象とし、世界株式インデックスの上昇リターンの獲得を目指すとともに、世界株式インデックス下落時の影響を抑制することを目指します。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

● 今後の運用方針

引き続き、パークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行する米ドル建債券の組入れを高位に保ち、世界株式インデックスの上昇リターンを獲得を目指すとともに、世界株式インデックス下落時の影響を抑制することを目指します。

● お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の「運用報告書に記載すべき事項」を「運用状況に係る情報」に変更するなどの必要があるため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2025年4月1日）。

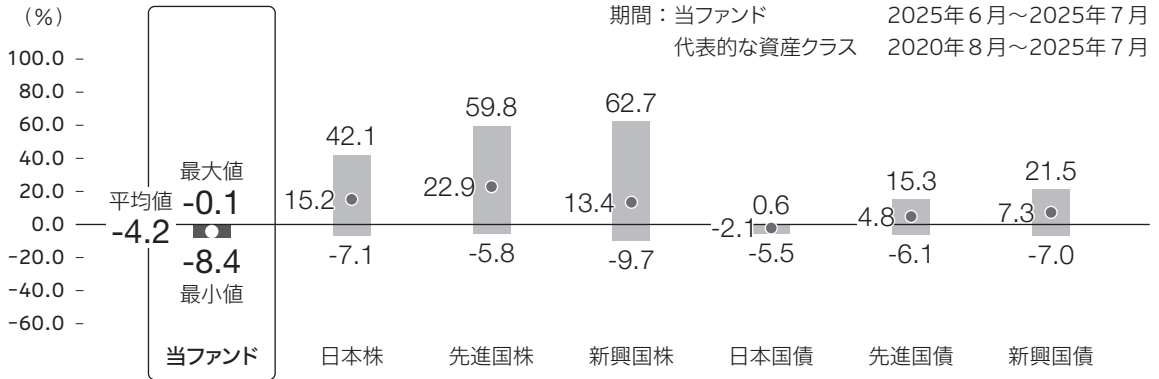
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

● 当該投資信託の概要

商品分類	単位型投信／内外／資産複合／特殊型（条件付運用型）
信託期間	2024年6月27日から2029年8月3日まで
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	パークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行する米ドル建債券
運用方法	① パークレイズ・バンク・ピーエルシーが発行する米ドル建債券（以下「米ドル建債券」といいます）を主要投資対象とし、パークレイズ・世界株式指数RC15%※（以下「世界株式インデックス」といいます）の上昇リターンの獲得を目指すとともに、世界株式インデックス下落時の影響を抑制することを目指します。 ※世界株式インデックスは日・米・欧の株価指数先物取引を実質的な投資対象とし、変動率が年率15%となるようにエクスポージャーを最大100%までの範囲内で調整します。 ② 米ドル建債券への投資を通じて、期中信託報酬相当額以上の利金収入獲得を目指すとともに、約5年後の満期償還時における償還益の獲得を目指します。 満期償還時における償還益は、以下2つの収益の合計値にて決定されます。 （1）固定償還益 米ドル建債券の発行時元本に、ファンドの設定時に決定した固定料率を乗じた額。 （2）パフォーマンス連動収益 米ドル建債券の満期償還時における世界株式インデックスの累積収益率に、ファンドの設定時に決定した連動率を乗じた額。 ただし、当該累積収益率がマイナスの場合、パフォーマンス連動収益はゼロとなります。 ③ 米ドル建債券の組入比率は高位を保つことを基本とします。また、原則として、満期まで保有することを前提とし、米ドル建債券の銘柄入替えは行いません。 ④ ファンドの1万口あたり基準価額と、設定来の1万口あたり収益分配金（税引前）累計額との合計額が13,000円以上となった場合には、米ドル建債券を売却し、円建ての短期公社債等に投資を行うことにより安定運用に切り替え、繰上償還します。 ⑤ 米ドル建債券の発行体が債務不履行等となった場合、米ドル建債券の資金化を行い、繰上償還します。 ⑥ 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、元本超過額、または経費控除後の配当等収益のいずれが多い額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

① 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
- 単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

指数に関する詳細は12ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

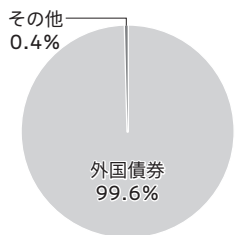
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入上位10銘柄

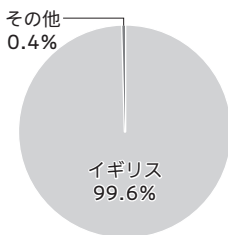
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 BARCLAYS BANK 1.0 290712	社債券	アメリカ・ドル	イギリス	99.6%
2 —	—	—	—	—
3 —	—	—	—	—
4 —	—	—	—	—
5 —	—	—	—	—
6 —	—	—	—	—
7 —	—	—	—	—
8 —	—	—	—	—
9 —	—	—	—	—
10 —	—	—	—	—
組入銘柄数		1 銘柄		

注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

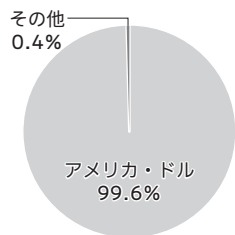
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

当該投資信託の組入資産の内容

● 純資産等

項目	第 1 期末 2025.8.4
純資産総額	2,319,829,968円
受益権総口数	2,450,603,464口
1 万口当たり基準価額	9,466円

※ 当期中における解約元本額は70,523,497円です。

純資産等

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

パークレイズ社債／ダウンサイド・プロテクト型世界株式戦略ファンド（早期償還条項付）2024-06

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/7197/price.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次
でご説明しております。

休

海外休業日
(申込不可日)

購入・換金の申込不可日を
ご案内しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。